

平成21年6月1日

お得意様各位

宮田工業株式会社
品質センター
自転車統括営業部

ステンレス接着フレームの接着剥離に関する安全点検のお願い

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃よりミヤタ自転車のご拡販にご尽力を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

弊社では4月初旬に自転車事故撲滅のために、「製品事故防止のための安全点検のお願い」状を送付してご販売店様に安全点検のご協力をいただいておりますことをまづもってお礼申し上げます。

今回はあらためまして標題の事案に絞ってお願い申し上げる次第です。

具体的内容として、弊社で05年2月までに生産したステンレス接着フレームのごく一部に、使用中接着部が剥離してフレームが何ミリかずれる現象が発生しております。(下図をご参照願います)

原因は、接合部の表面荒らし精度や接着剤塗布量のばらつきなどの複合要因と推定しております。

パイプとラグの一部が剥離しても、圧入寸法の関係で外れる危険性はほとんど無いことを社内で検証しておりますが、万一の事故を防止するために、お客様のご来店時にステンレス接着フレームの接合部の異常がないかを点検して頂き、接着部の剥離ずれや変形ひび割れなどがないかの確認をお願い申し上げます。

フレームの不具合は走行中の重大製品事故につながる恐れがありますので、万一下記のような不具合が発見された場合は、フレーム交換による安全整備をして頂きますようお願いいたします。

弊社といたしましては、「安全上の注意、警告」を守った使用を取扱説明書にてお願いしておりますが、通常使用におけるステンレス接着フレームの剥離ずれに関しましては、無償で交換させていただくことといたしました。

総代理店様におかれましては、お忙しいところ誠に申し訳ございませんが、貴総代理店様の傘下代理店様にもご指導ご連絡のほどお願い申し上げます。

ご多忙の中大変ご迷惑をおかけいたしますが、お客様の安全第一のこととありますので、何卒趣旨をご理解の上ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

※右図はヘッドラグと下パイプの接着部が剥離した例です。

ほかの部位も同様にご確認ください。

圧入接着の工法上、0.3~0.5mmぐらい(はがき一枚の厚さ)は塗装膜が切れて隙間ができていますが、これは異常ではありません。

剥離しているものは塗装膜が切れて灰色の生地が見えます。

なお本剥離現象はアルミフレームでは発生しておりません。

□不明点がある場合は下記へご相談下さいますようお願い申し上げます。

宮田工業(株) お客様相談室: 電話0467-85-1210

受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:00(土・日・祝祭日は休み)

